

## 【引用文献】

1. 岩手植物の会 (1970) 岩手県植物誌. 岩手植物の会, 盛岡 703pp.
2. 海老原淳 (2017) 日本産シダ植物標準図鑑II. 学研プラス, 東京 508pp.
3. 大場達之 (1974) 葛根田川上流域の植生. 日本自然保護協会調査報告 48: 149-196.
4. 千田善喜・村井三郎 (1978) 岩手県植物拾遺録 (II) ミズスギの新産地. 岩手植物の会会報 15: 7-8.
5. 海老原淳 (2016) 日本産シダ植物標準図鑑 I. 学研プラス, 東京 475pp.
6. 大森鉄雄 (1980) 花巻市毒ヶ森山塊 尻平川源流地帯の植物 I. 花巻市文化財調査報告書植物篇 2: 1-21.
7. 大森鉄雄・高橋久 (1980) Q岩手県に産する2・3の植物について V. 岩手植物の会会報 17: 23-26.
8. 大森鉄雄・高橋久 (1989) 岩手県に産する2・3の植物について IX. 岩手植物の会会報 26: 41-43.
9. 大森鉄雄・高橋久 (1992) 岩手県に産する2・3の植物について X. 岩手植物の会会報 29: 7-9.
10. 菊地政雄・小水内長太郎 (1961) 陸中早池峰連峰の植物. 上西科学教育研究会, 遠野 53pp.
11. 吉田繁 (1985) 陸前高田沿岸部の植物 一広田半島を中心の一. 岩手植物の会会報 22: 6-13.
12. 大森鉄雄 (2001) 岩手県に産する2・3の植物について XIII. 岩手植物の会会報 38: 16-19.
13. 大森鉄雄 (2010) 花巻市のため池・湿性地の植物 I 一旧花巻市域のため池・湿性地における水生・湿生植物. 花巻市文化財調査報告書 4: 1-35.
14. 鈴木實 (1984) 岩手県南地方で確認した新分布の植物. 岩手植物の会会報 21: 25-27.
15. 井上幸三 (1979) リシリシノブの分布について. 岩手植物の会会報 16: 7-11.
16. 清水建美 (1958) 岩手県下閉伊郡の石灰岩地帯より得た特記すべき植物 2. 植物分類・地理 17: 107-113.
17. 菊地政雄 (1965) 北上山系の植物相 (概報) I. 岩手植物の会会報 2: 1-12.
18. 村井三郎・小林隆二・高橋政利・安本広静 (1978) 植生 安家石灰岩地帯における自然環境の特質とその保全. 岩手県東北開発センター, 盛岡 76-91.
19. 上野雄規 (1985) 北本州植物分布資料 (2) タチヒメワラビ. 東北植物研究 2: 54.
20. 高野祐晃 (1998) 岩手県産植物分布資料 (3) オオエゾデンダほか数種の植物分布について. 岩手植物の会会報 35: 38-39.
21. 高野祐晃 (2004) 岩手県産植物分布資料 (7) スナジスグほか数種の分布について. 岩手植物の会会報 41: 15-16.
22. 高野祐晃 (1983) 岩手県南に分布する2・3の植物 (2). 岩手植物の会会報 20: 65-66.
23. 井上幸三 (1986) 夜沼とほかの二つの湖沼の水草について. 岩手植物の会会報 23: 1-4.
24. 高野祐晃・須川直義 (2009) 北上市和賀・江釣子地区の湧水地の植物. 北上市立博物館研究報告 17: 61-70.
25. 宮崎佑介・松崎慎一郎・角谷拓・関崎悠一郎・鷺谷いづみ (2010) 岩手県一関市のため池群においてコイが水草に与えていた影響. 保全生態学研究 15: 291-295.
26. 大森鉄雄 (2012) 花巻市のため池・湿性地の植物 II 一花巻市石鳥谷町域のため池等における水生・湿生植物. 花巻市文化財調査報告書 6: 1-50.
27. 大森鉄雄 (1982) 奥羽山脈毒ヶ森山塊 尻平川源流地帯の植物 II. 花巻市文化財報告書植物編 3: 1-22.
28. 鈴木實 (2006) 植物観察紀行 (41). 岩手植物の会会報 43: 53-54.
29. 村井三郎・安本広静 (1982) 岩手植物拾遺録 (4). 岩手植物の会会報 19: 36-39.
30. 鈴木實 (1991) 岩手県における暖帯系シダの分布について. 岩手植物の会会報 28: 37-42.
31. 小守一男・千葉高男 (2004) ハコネシダの生態的考察. 岩手植物の会会報 41: 25-30.
32. 小水内長太郎・三浦徳蔵 (1980) 山岳標高差による特殊植物分布例 (遠野市) について. 岩手植物の会会報 17: 30-38.
33. 新井隆介・皆川拓 (2021) 岩手県大船渡市でイチョウシダを初確認. 岩手植物の会会報 58: 45-46.
34. 鈴木實 (2000) 岩手県南地方に新分布の植物について. 岩手植物の会会報 37: 41-44.
35. 阪口寿子・佐藤利幸 (1999) 隔離分布する寒地性シダ (イワカゲワラビ) をとりまく森林構造の解析—生活形に着目した植物相の類似性とその変動—. 信州大学環境科学年報 21: 43-54.
36. 北上彌逸 (1966) 岩手県に産する2・3の植物について. 岩手植物の会会報 3: 3-4.
37. 玉川七郎 (1980) 岩手県のシダ類について. 岩手植物の会会報 17: 39-42.
38. 小水内長太郎・高野祐晃 (1986) 種山・大森山及びその周辺の植物調査について. 岩手植物の会会報 23: 20-27.
39. 鈴木實 (1989) 岩手県南に分布の植物新知見. 岩手植物の会会報 26: 36-40.
40. 鈴木實 (1980) 県南の金ヶ崎町六原に新分布の植物. 岩手植物の会会報 17: 17-18.
41. 高野祐晃 (1992) 岩手県産植物分布資料. 岩手植物の会会報 29: 10-11.
42. 鈴木實 (1996) 岩手の植物新知見. 岩手植物の会会報 33: 22-25.
43. 高野祐晃 (2007) 岩手県産植物分布資料 (10) ミツカドシカクイほか数種の分布について. 岩手植物の会会報 44: 25-28.
44. 上野雄規 (2009) 北本州植物分布資料 (19) ヤワラシダ. 東北植物研究 15: 22.

45. 鈴木實 (1987) 岩手県産アイヌカイノデについて. 岩手植物の会会報 24: 17–21.
46. 大森鉄雄 (1982) 真昼岳の植物相. 沢内村教育委員会. 沢内 31pp.
47. 笹村祥二 (1969) 御箱崎半島の植物. 岩手植物の会会報 6: 13–18.
48. 村井三郎 (1973) 陸中海岸三貫島の植物相 (I). 岩手植物の会会報 10: 5–10.
49. 吉田繁 (2001) 五葉山の植物. 五葉山. 五葉山刊行会 27–67.
50. 大森鉄雄 (1995) 女神岳の植物. 岩手植物の会会報 32: 17–22.
51. 大迫町立山岳博物館編 (1983) 早池峰連峰産高等植物目録. 早池峰の植物. 大迫町 249–264.
52. 及川邦夫 (1982) ベニカヤランとキソエビネ. 岩手植物の会会報 19: 17–19.
53. 北上彌逸 (1985) 滝沢村大崎地区の植物について. 岩手植物の会会報 22: 20–24.
54. 戸澤順子 (1988) 安代町の植物 (1). 岩手植物の会会報 25: 45–51.
55. 小山田智彰・鞍懸重和・新井隆介・山内貴義・片山千賀志 (2012) 東日本大震災の津波による岩手県における海浜性植物の消滅. 薬用植物研究 34: 37–48.
56. 島田直明 (2012) 2011年東日本大震災の津波被害後の宮古市重茂半島のエゾオグルマ個体群の現状について. 岩手県立大学総合政策学部 Working papers series No.76.
57. 大上幹彦・小水内正明 (2013) 津波の影響を受けた海岸植生. 岩手植物の会会報 50: 14–18.
58. 島田直明 (2014) 東日本大震災による津波が岩手県の海岸植生に与えた影響およびその後の植生再生と保全状況について. 植生情報 18: 44–54.
59. 大上幹彦 (2016) 大津波を受けた岩手県宮古市のエゾオグルマ個体群の現状. 岩手植物の会会報 53: 9–14.
60. 小山田智彰・鞍懸重和・千崎則正 (2020) 岩手県における東日本大震災津波の影響調査: 海浜性希少植物の動態. 全国環境研会誌 45(4): 36–41.
61. 石塚和雄 (1961) *Picea* 岩手県早池峰山に産す. 植物研究雑誌 36: 70–72.
62. 松田彊・春木雅寛・長谷川栄・矢島崇・関根誠・真山良 (1978) アカエゾマツ天然林の研究 —南限早池峰山における生育と更新について—. 日本生態学会誌 28: 347–356.
63. 杉田久志 (2004) 早池峰山のアカエゾマツ南限隔離遺存集団. 森林科学 42: 77–81.
64. 笹村祥二 (1971) 岩手県におけるテンナンショウ属の分布 (補遺). 岩手植物の会会報 8: 21–22.
65. 大森鉄雄 (2000) 岩手県に産する2・3の植物について XII. 岩手植物の会会報 37: 51–54.
66. 亀山喜作 (1995) ヒンジモ (品字藻 *Lemna trisulca* L.) の生育地の発見について. 岩手植物の会会報 32: 36.
67. 大和敬子 (2000) ヒンジモ金沢清水で確認. 岩手植物の会会報 37: 61.
68. 荒木田昭子 (2006) ヒンジモ零石町岩手山麓で確認. 岩手植物の会会報 43: 44.
69. 杉田修一 (2009) 岩手火山南麓におけるヒンジモの新分布地について. 岩手植物の会会報 46: 49–50.
70. 亀山喜作 (2020) ヒンジモ (サトイモ科) の生育の現状と新たな分布地. 岩手植物の会会報 57: 21–24.
71. 高野祐晃 (2005) 岩手県産植物分布資料 (8) いわてレッドデータブック情報不足種等について (2). 岩手植物の会会報 42: 13–16.
72. 清水建美 (1958) 岩手県下閉伊郡の石灰岩地帯より得た特記すべき植物3. 植物分類・地理 17: 143–154.
73. 藤元淳・須川直義・松岡洋一 (1996) 猫鼻渓の植物相. 猫鼻渓学術調査報告書. 東山町教育委員会 4–26.
74. 片山千賀志 (2007) 岩手県未記録の植物について. 岩手植物の会会報 44: 40.
75. Shiga T., Kato S., Usuba M., Yamanouchi T. (2017) Genetic identification of *Sagittaria natans* (Alismataceae) from Lake Yonuma (Iwate Prefecture) as a new locality in Japan, J. Jpn. Bot. 92: 184–192.
76. 阿部幸之助・茅橋輝男・及川勇・佐竹邦彦・澤藤悦子・菅原完之・須川直義 (2003) 北上市東部地区における溜め池調査 中間報告. 北上市立博物館研究報告 14: 135–156.
77. 高野祐晃・須川直義 (2007) 北上市口内地区におけるため池の水生植物. 北上市立博物館研究報告 16: 105–110.
78. 高野祐晃 (2013) 岩手県産植物分布資料 岩手県新産植物 (3). 岩手植物の会会報 50: 24–28.
79. 島田直明・池野昌美・佐々木茉祐・神吉隆行 (2024) 岩手県の津波浸水域における沈水植物の分布状況. 総合政策 25: 21–32.
80. 関根清正 (2020) 岩手県洋野町と近隣市町の自生する「海浜植物」について. 岩手植物の会会報 57: 11–13.
81. 鈴木まほろ・小水内正明 (2008) 春子谷地の植物相. 春子谷地生物相調査報告書. 春子谷地生物相調査グループ, 盛岡 4–7.
82. Aioi K., Nakaoka M., Kouch N., Omori Y. (2000) A new record of *Zostera asiatica* Miki (Zosteraceae) in Funakoshi Bay, Iwate Prefecture, Otsuchi Marine Science 25: 23–26.
83. 大森雄治 (2000) 日本の海草—分布と形態—. 海洋と生物 22: 524–532.

84. 大森雄治・相生啓子・盛田孝一 (1996) スゲアマモ (*Zostera caespitosa* Miki: アマモ科) の新産地. 東京大学海洋研究所・大槌臨海研究センター報告 21: 32-37.
85. 相生啓子・小松輝久・盛田孝一 (1996) 岩手県・船越湾で発見された巨大海草 一タチアマモについて一. 水産海洋研究 60: 7-10.
86. 相生啓子 (1998) 日本の海草—植物版レッドデータリストより一. 海洋と生物 20: 7-12.
87. 猪苗代正憲 (2008) 山田町織笠川 河口のコアマモの移植について. 岩手植物の会会報 45: 33-36.
88. 猪苗代正憲 (2000) 県内のエンレイソウ属について. 岩手植物の会会報 37: 37-38.
89. 工藤公也 (1982) クロユリ焼石岳に産す. 岩手植物の会会報 19: 20-24.
90. 大森鉄雄・高橋久 (1981) 岩手県に産する2・3の植物について VI. 岩手植物の会会報 18: 31-34.
91. 大森鉄雄・高橋久 (1984) 岩手県に産する2・3の植物について VIII. 岩手植物の会会報 21: 31-32.
92. 安藤亮太・国崎貴嗣 (2009) 岩手県内のコナラ高齢保護林における植物相. 岩手大学農学部演習林報告 40: 85-101.
93. 藤澤英俊 (2022) 2021年に出逢った植物たち. 岩手植物の会会報 59: 23-26.
94. 大森鉄雄 (1975) 岩手県に産する2・3の植物について III. 岩手植物の会会報 12: 26-29.
95. 猪苗代正憲 (1999) モイワラン岩手県に産す. 岩手植物の会会報 36: 27.
96. 及川和夫 (1978) 岩手県で発見した珍蘭トケンラン. 岩手植物の会会報 15: 23-27.
97. 大森鉄雄 (2011) 岩手県におけるカヤツリグサ科植物ほか数種の新産地. 岩手植物の会会報 48: 58-61.
98. 大森鉄雄 (1996) 岩手県に産する2・3の植物について XI. 岩手植物の会会報 33: 35-37.
99. 関根清正 (2011) 洋野町に自生する岩手県絶滅危惧植物. 岩手植物の会会報 48: 41-43.
100. 関根清正 (2006) 洋野町種市地区の植物. 岩手植物の会会報 43: 38-43.
101. 小山田智彰 (2019) 岩手県におけるアツモリソウの現状と保全. 全国環境研会誌 44: 50-55.
102. 小山田智彰・鞍懸重和・高柳茂暢・吉田馨 (2021) 生息域内保全を目的にしたアツモリソウ野生株の移植と保全措置の有効性. 自然環境復元研究 12: 3-16.
103. 小山田智彰・鞍懸重和・平塚明・富永朋之・片山千賀志・猪苗代正憲 (2010) 岩手県におけるアオキランの再確認と自生地の環境. 岩手植物の会会報 47: 1-6.
104. 猪苗代正憲 (2006) 2005年に出会った植物. 岩手植物の会会報 43: 45-46.
105. 山口一彦 (2021) 岩山(盛岡市)と八幡平で出会った植物. 岩手植物の会会報 58: 47-50.
106. 大森鉄雄 (1964) 花巻に産するヒメノヤガラについて. 岩手植物の会会報 1: 5-7.
107. 大森鉄雄 (1999) 花巻市草井山等西部地帯に自生する希少植物調査報告書. 花巻市文化財調査報告書 25: 33-40.
108. 上野雄規 (1978) 東北におけるムヨウラン属の採集史. 岩手植物の会会報 15: 3-6.
109. 鈴木まほろ・小水内正明 (2010) 春子谷地の植物相II 春子谷地生物相調査報告書 2. 春子谷地生物相調査グループ, 盛岡 3-11.
110. 竹原明秀 (2001) 檜取湿原自然環境保全地域の植生と植物相. 自然環境保全地域等動向調査報告書. 岩手県生活環境部自然保護課, 盛岡 43-77.
111. 鈴木まほろ・八重樫理彦 (2018) 東北地方におけるヒメスズムシソウの初記録. 植物分類・地理 66(2): 175-176.
112. 工藤公也・佐藤正樹 (1982) 鶯宿地方に産するクモイジガバチについて. 岩手植物の会会報 19: 25-27.
113. 鈴木實 (1974) 県南に分布する植物について. 岩手植物の会会報 11: 23-25.
114. 大谷雅人・出口詩乃・西廣淳・鷺谷いづみ (2013) 岩手県一関市内久保川イーハトーブ自然再生事業地における水田畦畔の維管束植物相の特徴と規定要因. 保全生態学研究 18: 167-185.
115. 小守一男・鈴木まほろ (2009) *Platanthera fuscescens* ヒロハトンボソウを岩手県で確認. 東北植物研究 15: 29-30.
116. 千田貞蔵 (1991) 束稻山から消滅した植物. 岩手植物の会会報 28: 16-19.
117. 千葉高男・八幡輝夫・小守一男 (2002) 安比高原ブナ二次林の植生(その2) —植物相を中心に—. 岩手植物の会会報 39: 18-24.
118. 新井隆介・大窪久美子 (2014) 岩手県に残存する半自然草原群落の現状および過去との比較による保全生態学的研究. 日本緑化学会誌 40(1): 142-147.
119. 吉田繁 (2000) 絶滅危惧植物ミズアオイ陸前高田市に産す. 岩手植物の会会報 37: 55-58.
120. 新井隆介・永幡嘉之 (2013) 岩手県における津波跡地で確認されたミズアオイ. 岩手植物の会会報 50: 8-13.
121. 鈴木まほろ (2016) 津波後の湿地によみがえった花. 生態学が語る東日本大震災. 日本生態学会東北地区会. 文一総合出版, 東京 138-143.
122. 新井隆介 (2021) 岩手県における津波跡地で確認されたミズアオイのその後. 岩手植物の会会報 58: 19-26.
123. 新井隆介 (2022) 2021年に確認したミズアオイ生育地. 岩手植物の会会報 59: 27-30.

124. 井上幸三・吉田稔 (1982) 八幡平湖沼のミクリ属について. 岩手植物の会会報 19: 28–32.
125. 吉田稔 (2003) 夜沼と白沼のホソバウキミクリの生育現状. 岩手植物の会会報 40: 47–49.
126. 高野祐晃 (2006) 岩手県産植物分布資料 (9) エゾヤナギモほか数種の水生植物の分布について. 岩手植物の会会報 43: 18–21.
127. 須川直義 (2005) 北上市立博物館所蔵のマスクサ亜属 (カヤツリグサ科スゲ属) 目録. 北上市立博物館研究報告 15: 199–204.
128. 大森鉄雄 (2001) イトスゲが岩手県に産す. 岩手植物の会会報 38: 7–8.
129. 関根清正 (2007) 洋野町の海岸植物について. 岩手植物の会会報 44: 37–39.
130. 鐵慎太郎・吉川正人・鮎川恵里 (2017) 三陸北部の岩礁海岸に成立する小規模湿地の立地特性と植生. 植生学会誌 34: 65–85.
131. 鈴木まほろ・大上幹彦・金田宜昭・武田真一・浜津ミサノ (2016) 東北地方におけるイネ科フォーリーガヤの初記録. 植物研究雑誌 91(2): 105–106.
132. 関根清正 (2018) 岩手県植物誌の改定の調査から—洋野町で新たに確認した植物と絶滅したと思われる植物—. 岩手植物の会会報 55: 37–40.
133. 土井信夫 (1980) 早池峰の花. 誠文堂新光社, 東京 263pp.
134. 猪苗代正憲 (2003) 2002年に出会った植物から. 岩手植物の会会報 40: 40–41.
135. 大上幹彦 (2017) 北上山地中央部で新たに確認された希少種2種とその生育環境. 岩手植物の会会報 54: 17–22.
136. 地政雄・林崎輝雄 (1960) ヒメキンボウゲ (*Ranunculus Kawakamii* Makino) の分布. 生態及び核型について—特に *R. Cymbalaria Pursh.*との同種性に論及する. 岩手大学学芸学部研究年報 15(2): 25–33.
137. 高野祐晃 (2011) 岩手県新産の植物. 北上市立博物館研究報告 18: 7–10.
138. 藤澤英俊 (2023) 2022年に出逢った植物たち. 岩手植物の会会報 60: 17–20.
139. 鈴木實 (1993) 焼石岳. なんぶそう: 岩手植物の会創立30周年記念誌. 岩手植物の会, 盛岡 38–42.
140. 藤澤英俊 (2024) 2023年に出逢った植物たち. 岩手植物の会会報 61: 41–44.
141. 吉田繁 (1984) 暖温帯植物マルバグミ陸前高田に産す. 岩手植物の会会報 21: 1–4.
142. 竹原明秀 (1997) 岩手県湯田町のサクラバハシノキ生育地の植生. 自然誌研究年報 2: 35–43.
143. 菊地政雄 (1954) チシマウスバスミレに就いて. 岩手大学学芸学部研究年報 6(第2部): 43–49.
144. 武田真一 (2019) 岩手県におけるスミレ属の分布の特徴 (III) 北方に分布の中心を持つ種. 岩手植物の会会報 56: 9–17.
145. 竹原明秀 (1995) 和賀川上流域のヤナギ林およびユビソヤナギの分布. 自然誌研究年報 1: 11–21.
146. 吉田繁 (1985) 数種の植物と新産地. 岩手植物の会会報 22: 31–36.
147. 黒沢高秀・大橋広好 (2000) 絶滅危惧IA類ムサシタイゲキはセンダイタイゲキと区別できない—センダイタイゲキの分類と分布の再検討—. 植物研究雑誌 75: 104–110.
148. 黒沢高秀・鈴木まほろ (2005) 岩手県立博物館所蔵の笛村コレクションに含まれるトウダイグサ属標本の特色とラベルに記載された独自の学名について. 岩手県立博物館研究報告 22: 45–52.
149. 瀬川幸一 (1973) 盛岡市岩山及びその附近の植物—古ノートの記録から—. 岩手植物の会会報 10: 43–47.
150. 小水内長太郎・三浦徳蔵・横山恵一 (1983) 笠通山の植物調査について. 岩手植物の会会報 20: 19–23.
151. 高野祐晃 (2003) 岩手県産植物分布資料 (6) いわてレッドデータブック情報不足種について. 岩手植物の会会報 40: 46.
152. 大森鉄雄 (2008) 岩手県に産する2・3の植物について XVI. 岩手植物の会会報 45: 30–32.
153. 井上幸三 (1987) 水草2種の新産地. 岩手植物の会会報 24: 10.
154. 島田直明・川西基博・早坂大亮 (2014) 岩手県の砂浜植生回復に關わる生態学的な評価と保全対策の提案. 総合政策 16(1): 19–34.
155. 小守一男・鈴木まほろ (2011) *Cardamine valida* アイヌワサビの岩手県における分布. 東北植物研究 16: 79–80.
156. 鈴木まほろ・森長真一 (2008) ハリナズナの国内新産地. 東北植物研究 14: 43–44.
157. 村井三郎 (1976) シラオイハコベの一変種. 岩手植物の会会報 13: 1–3.
158. 菊地政雄 (1967) 北上山系の植物相とその植物地理学的考察 (III). 岩手大学学芸学部研究年報 27(3): 1–28.
159. 高橋大等 (1997) 三陸海岸の海痕植生II—宮古湾岸の海浜植生について—. 岩手植物の会会報 34: 1–9.
160. 小水内長太郎 (1971) 植物調査研究を回顧して. 岩手植物の会会報 8: 25–29.
161. 高橋大等 (2006) ユキワリコザクラの生育地間の比較と個体群動態から見た生育特性. 岩手植物の会会報 43: 7–12.
162. 大森鉄雄・高橋久 (1987) 高下岳の植物 I. 岩手植物の会会報 24: 27–33.
163. 須川直義 (1986) 焼石岳の植物 岩手の生物. 日本生物教育会岩手大会「岩手の生物」編集委員会, 盛岡 49–54.
164. 堀口徹夫・工藤公也 (2020) 焼石岳のキバナシャクナゲに出会って. 岩手植物の会会報 57: 25–28.

165. 菊地政雄 (1962) 日本産ヨウラクツツジ属の一新種. 植物研究雑誌 37: 353–356.
166. Maki M., Horie S., Yokoyama J. (2002) Comparison of genetic diversity between narrowly endemic shrub *Menziesia goyozanensis* and its widespread congener *M. pentandra* (Ericaceae). Conservation Genetics 3: 421–425.
167. 千葉博・小水内正明 (2011) 五葉山の植物群落—ゴヨウザンヨウラク自生地の植生一. 岩手植物の会会報 48: 27–30.
168. 小林隆二 (1972) 岩手県南部自鏡山に自生するサフルリソウ. 岩手植物の会会報 9: 29–30.
169. 小水内長太郎 (1990) イワタバコの分布について. 岩手植物の会会報 27: 8–9.
170. 大森鉄雄 (1972) ヤマクワガタ岩手県に産す. 岩手植物の会会報 9: 31–34.
171. 竹原明秀 (1985) 花輪堤の植物相. 国指定天然記念物花輪堤ノハナショウブ群落調査報告書II. 花巻市教育委員会 41–50.
172. 上野雄規 (1997) 東北におけるフサタヌキモの現状と保全. 植物地理・分類研究 45: 53–64.
173. 上野雄規 (2011) 岩手県一関市におけるオオタヌキモの分布. 岩手植物の会会報 48: 3–8.
174. 高橋大等 (2002) 軽米町の山火事による植生の変化について. 岩手植物の会会報 39: 7–12.
175. 北上市史編さん委員会編 (2021) 新編北上市史特別編 自然. 北上市 384pp.
176. 吉田繁 (1994) 植物 陸前高田市史 第1巻自然編. 陸前高田市史編纂委員会 29–408.
177. 島田直明 (2021) 岩手県で60年ぶりに記録されたハマゴウ. 総合政策 23: 105–108.
178. 石塚和雄・土井信夫 (1978) 早池峰の貴重植物の重要度評価とその盗採状況. 環境科学研究報告集 B6-R10-1 17–23.
179. 加藤辰己 (1987) 東北地方におけるオタカラコウとトウゲブキの分布について. 植物研究雑誌 62: 28–30.
180. 原寛・菊地政雄 (1961) キタカミヒヨウタンボク. 植物研究雑誌 38: 32.
181. 高橋大等・河野隆年 (2003) 北上高地におけるハナヒヨウタンボク *Lonicera maackii* (Rupr.) Maxim.の分布と生態について. 岩手植物の会会報 40: 24–29.
182. 高橋大等 (2005) 日本におけるハナヒヨウタンボク *Lonicera maackii* (Rupr.) Maxim.の類似性について. 岩手植物の会会報 42: 1–6.
183. 高橋大等 (2013) オニヒヨウタンボクの北限地. 植物研究雑誌 88: 249–250.
184. 高橋大等 (2016) 一関市におけるオニヒヨウタンボクの北限生育地. 岩手植物の会会報 51・52: 92–96.
185. 須川直義 (2003) 北上市立博物館所蔵の裸子植物図目録. 北上市立博物館研究報告 14: 165–174.
186. 亀山喜作 (2011) 早坂高原における植物相 (秋季). 岩手植物の会会報 48: 44–47.
187. 千葉博・小水内正明 (2010) 岩手山の植物群落 一雪田植生一. 岩手植物の会会報 47: 19–23.
188. 井上幸三 (1988) マルバオモダカの新産地. 岩手植物の会会報 25: 29.
189. 井上幸三・吉田稔 (1983) 岩手県湯田町「湯川沼」の環境と植生. 岩手植物の会会報 20: 31–36.
190. 高野祐晃・須川直義 (2005) 北上市稻瀬・立花地区における溜め池の水生植物. 北上市立博物館研究報告 15: 205–210.
191. 大橋広好・吉田繁・上野雄規 (2004) ミヤマスカシユリの新分布. 植物研究雑誌 79: 140–142.
192. 及川邦夫 (1980) 岩手県のエビネの分布. 岩手植物の会会報 17: 10–13.
193. 関根清正 (2003) 私の35年間植物観察記録. 岩手植物の会会報 40: 51–52.
194. 及川邦夫 (1981) タカネトンボの変異. 岩手植物の会会報 18: 35–37.
195. 金田宜昭 (2022) アオフタバラン (ラン科) の生育環境. 岩手植物の会会報 59: 31–34.
196. 片山千賀志 (2009) 岩手県未記録の植物について (2008). 岩手植物の会会報 46: 44.
197. 遠藤慎一・大杉泰功・原田昌直 (2017) 胆沢ダムの湛水前後のモニタリング調査による総合評価. 平成28年度水源地環境技術研究所所報 35–41.
198. Yukawa T. Yamashita Y. (2017) *Pogonia subalpina* (Orchidaceae): a new species from Japan. Bull. Natl. Mus. Nat. Sci., Ser. B 43: 79–86.
199. 菅原亀悦・有泉智之 (1989) 山岸カキツバタ群落調査報告書. 盛岡市 57pp.
200. 大森鉄雄・高橋久 (1993) 牛形山の植物. 岩手植物の会会報 30: 11–16.
201. 大森鉄雄 (2013) 早池峰連峰に産するオクタマツリスゲ等の植物. 岩手植物の会会報 50: 37–38.
202. 沼宮内信之 (2017) 岩手大学滝沢演習林に生育するオクタマツリスゲの同定. 岩手植物の会会報 54: 23–26.
203. 沼宮内信之 (2017) オクタマツリスゲ (カヤツリグサ科) に見られた赤色を帯びた雄鱗片. 植物研究雑誌 92: 50–52.
204. 大森威宏 (2019) オクタマツリスゲ (カヤツリグサ科) の形態と分布の再検討. 植物研究雑誌 94: 165–172.
205. 大森鉄雄 (2016) 岩手県内で発見された斑入りのコカンスゲ, ベニカンスゲ, サナギスゲ. 岩手植物の会会報 51・52: 99–101.
206. 吉田繁・高野祐晃 (2007) 野島の植生および植物相とナキリスゲ (第2報). 岩手植物の会会報 44: 29–34.
207. 須川直義 (2007) 北上市立博物館所蔵の広義ホタルイ属 (カヤツリグサ科) 目録 一フトイ属, ミネハリイ属, ウキヤガラ属, クロアブラガヤ属に分けて一. 北上市立博物館研究報告 16: 145–155.

208. 片山千賀志 (2008) 岩手県野生生物目録に未記録の植物について. 岩手植物の会会報 45: 43.
209. 井上幸三・小水内正明・荒木喜一 (1983) 岩手山火口原の植生について. 岩手植物の会会報 20: 7-18.
210. 千葉博・小水内正明 (2011) 岩手山の植物群落一火山荒原植生III—. 岩手植物の会会報 48: 37-40.
211. 八幡輝夫・三浦敢弘 (1970) 天狗森の夏冰風穴 20pp.
212. 吉田繁 (1997) 岩手県に産する2種類の植物と新産地. 岩手植物の会会報 34: 23-29.
213. Suda Y., Adachi Y. (1991) Differentiation of *Adonis* L. in Japan II. Distribution and flowering period. Sci. Rep. Tohoku Univ., 4th ser. Biology 40: 65-76.
214. 吉田繁 (1980) 岩手県に産する2・3の植物と新産地. 岩手植物の会会報 17: 27-29.
215. 猪苗代正憲 (2005) 2004年に出会った植物. 岩手植物の会会報 42: 17-18.
216. 小水内長太郎・鈴木弘文 (1985) 釜石・洞泉石灰山の植物. 岩手植物の会会報 22: 1-5.
217. 高野祐晃・須川直義・及川一 (2007) ハバラ谷地湿原の植物相. 北上市立博物館研究報告 16: 133-144.
218. 高野祐晃・村井三郎 (1980) オンタデ・ミヤママンネングサを焼石岳で発見. 岩手植物の会会報 17: 6.
219. 渋谷晃太郎・島田直明・鈴木正貴 (2014) 岩手県三陸沿岸エコトーンの現状把握とその保全に関する研究. 総合政策 15: 181-199.
220. 井上幸三・吉田稔・千葉斐子 (1988) ツブ沼・鞍掛沼の水生植物と周辺の植物. 岩手植物の会会報 25: 17-20.
221. 小水内長太郎 (1994) 鮫山・鮫ヶ崎の植物について. 岩手植物の会会報 31: 6-8.
222. 大森鉄雄 (2009) 岩手県に産するカヤツリグサ科等の植物について. 岩手植物の会会報 46: 30-34.
223. 鈴木實 (2013) 岩手県産ハンノキ属植物. 岩手植物の会会報 50: 39-40.
224. 武田真一 (2017) 岩手県におけるスミレ属の分布の特徴 (I) 多雪地型 (日本海側型) 分布種. 岩手植物の会会報 54: 9-16.
225. 猪苗代正憲 (2002) 2001年に出会った植物から. 岩手植物の会会報 39: 14-15.
226. 武田真一 (2006) 岩手郡北部および二戸郡におけるゲンジスミレの自生環境と個体群分布の特徴. 岩手植物の会会報 43: 1-7.
227. 武田真一 (2018) 岩手県におけるスミレ属の分布の特徴 (II) 避雪型分布種. 岩手植物の会会報 55: 9-16.
228. 吉田繁 (2002) 絶滅危惧植物マルミノウルシ三陸町に産す. 岩手植物の会会報 39: 4-6.
229. 大森鉄雄 (1994) 南本内岳の植物相補遺. 岩手植物の会会報 31: 18-20.
230. 高橋大等 (1999) ウリカエデ・ベニバナボロギク等の岩手県における分布について. 岩手植物の会会報 36: 8-9.
231. 新井隆介 (2023) 岩手県大船渡市で再確認されたモクゲンジ. 岩手植物の会会報 60: 25-28.
232. 大森鉄雄 (1967) 岩手県上閉伊郡宮守村の植物. 岩手植物の会会報 4: 9-13.
233. 鈴木まほろ (2011) 岩手県におけるワサビ属の分布. 東北植物研究 6: 75-78.
234. 鈴木實・高野祐晃 (1978) 東北におけるミヤマタニソバの分布. 岩手植物の会会報 15: 8-9.
235. 吉田繁 (2005) 二種類の植物とその新産地. 岩手植物の会会報 42: 13-15.
236. 大森鉄雄 (1989) 花巻市北上川東岸の植物 (1) 胡四王山の植物. 花巻市文化財報告書 9-42.
237. 吉田繁 (2004) 希産植物ギンレイカ沿岸部に産す. 岩手植物の会会報 41: 20-21.
238. 小水内長太郎・鈴木弘文 (1981) 御箱崎半島の植物追跡について. 岩手植物の会会報 18: 17-23.
239. 高橋大等 (1999) 岩手県におけるサクラソウの分布. 岩手植物の会会報 36: 30.
240. 本城正憲・大澤良・鷺谷いづみ (2002) 岩手大学滝沢演習林におけるサクラソウ個体群の現況とその保全に向けて. 岩手大学農学部演習林報告 33: 61-64.
241. 井上幸三 (1978) ハイハマボッスとその分布. 岩手植物の会会報 15: 1-2.
242. 高橋大等・小水内正明・村井三郎 (1977) 安家森からオオウメガサソウ発見. 岩手植物の会会報 14: 10-11.
243. 鈴木實 (1976) アズマシャクナゲの北限新産地について. 岩手植物の会会報 13: 9-10.
244. 吉田繁 (1996) オオキヌタソウ住田町に産す. 岩手植物の会会報 33: 47-52.
245. 鈴木實 (2003) 2002年の収穫. 岩手植物の会会報 40: 37-39.
246. 大森鉄雄・高橋久 (1985) 南本内岳の植物相. 岩手植物の会会報 22: 14-19.
247. 鈴木實 (1997) オオアブノメ岩手県に産す. 岩手植物の会会報 34: 17.
248. 高橋大等 (1996) 三陸海岸の海浜植生 I. 岩手植物の会会報 33: 26-34.
249. 高野祐晃 (2009) 岩手県産植物分布資料 (12) オオタヌキモほか数種の分布について. 岩手植物の会会報 46: 38-40.
250. 須川直義・小林隆二・村井三郎 (1980) ホソバコゴメグサの北限地. 岩手県植物の会会報 17: 6-7.
251. 吉田繁 (1999) トモエシオガマ 五葉山に産す. 岩手植物の会会報 36: 24-26.
252. 千葉博・小水内正明 (2009) 岩手山の植物群落一火山荒原植生II—. 岩手植物の会会報 46: 11-16.

253. 清水建美 (1958) 岩手県下閉伊郡の石灰岩地帯より得た特記すべき植物 1. 植物分類・地理 17: 85–93.
254. 高野祐晃 (1996) 岩手県産植物分布資料 (3) イワヨモギほか数種の植物分布について. 岩手植物の会会報 33: 62.
255. 高橋大等 (2004) 石鳥谷町林野火災による影響—被災程度からみた出現種の生活型並びに普遍種・希少種への影響. 岩手植物の会会報 41: 42–47.
256. Kadota Y. (2015) Systematic studies of Asian *Saussurea* (Asteraceae) VII. A new species from Hokkaido and four new species from northern Honshu, Japan. J. Jpn. Bot. 90: 158–178.
257. 大森鉄雄 (2003) 岩手県に産する 2・3 の植物について XV. 岩手植物の会会報 40: 42–45.
258. Kadota Y. (2008) Systematic studies of Asian *Saussurea* (Asteraceae) II. Two new species from Aomori Prefecture, northern Japan, J. Jpn. Bot. 83: 284–294.
259. 小水内長太郎 (1965) 遠野市六角牛の植物. 岩手植物の会会報 2: 17–24.
260. 沼宮内明 (1995) 岩手県で記録した帰化植物. 岩手植物の会会報 32: 23–28.
261. 関根清正 (2009) 洋野町の帰化植物. 岩手植物の会会報 46: 35–37.
262. 大森鉄雄 (1974) 岩手県に産する 2・3 の植物について II. 岩手植物の会会報 11: 15–18.
263. 井上幸三 (1975) 早池峰のあるガレ場植物. 岩手植物の会会報 12: 19–20.
264. 岩手県 (1982) 正法寺及び黒石寺環境緑地保全地域. 環境緑地保全地域生態系調査報告書 67–85.
265. Otsuka K., Watanabe R., Inoue K. (2002) A new species of *Symplocarpus* (Araceae) from Nagano Prefecture, central Japan, J. Jpn. Bot. 77: 96–100.
266. 大塚孝一 (2002) 日本産ザゼンソウ属の分布—特にナベクラザゼンソウについて. 長野県自然保護研究所紀要 5: 1–8.
267. 猪苗代正憲 (2004) ナベクラザゼンソウ *Symplocarpus nabekuraensis* Otsuka et K.Inoue について. 岩手植物の会会報 41: 17.
268. 菅原亀悦・竹原明秀 (1990) 栗木ヶ原湿原の植生. 南八幡平地域湿原調査事業栗木ヶ原湿原学術調査報告書. 岩手県自然保護課, 盛岡 44–74.
269. 関根清正 (2002) 久慈平岳の植物第 2 報. 岩手植物の会会報 39: 33–36.
270. 関根清正 (1985) 遠島山の植物. 岩手植物の会会報 22: 39–42.
271. 大森鉄雄 (1999) 衣川村月山神社境内の植物. 岩手植物の会会報 36: 16–21.
272. 竹原明秀・菅原亀悦 (1996) 大白森湿原の植生. 南八幡平地域湿原調査事業大白森湿原学術調査報告書. 岩手県自然保護課, 盛岡 39–70.
273. 早坂英介・細島尚子・黒沢高秀 (2008) ミチノクホタルイ (カヤツリグサ科) の南限産地およびミヤマホタルイからの識別形質. 植物研究雑誌 83: 310–313.
274. 中村心一・北上彌逸 (1975) 都南村上湯沢地区の植物目録. 岩手植物の会会報 12: 15–18.
275. 竹原明秀 (2002) 和山湿原自然環境保全地域の植生と植物相. 自然環境保全地域等動向調査報告書. 岩手県自然保護課, 盛岡 71–101.
276. 小守一男・千葉高男 (2011) 一戸町火行地域のヤチダモ—ミズバショウ群落. 岩手植物の会会報 48: 22–26.
277. 菊地政雄 (1964) チョウセンキンミズヒキについて. 岩手植物の会会報 1: 18–19.
278. 池谷祐幸・堀井雄治郎・大上幹彦・岩坪美兼 (2017) 北東北地方の海岸地帯でのエゾノコリンゴ (バラ科) の新産地. 植物研究雑誌 92(2): 112–115.
279. Iketani H., Ohashi H. (2003) Taxonomy and distribution of Japanese populations of *Pyrus ussuriensis* Maxim. (Rosaceae), J. Jpn. Bot. 78: 119–134.
280. 池谷祐幸・間瀬誠子・佐藤義彦 (2006) 北東北地方におけるナシ属・リンゴ属の探索・収集. 植物遺伝資源探索導入調査報告 22: 13–21.
281. 大森鉄雄 (2005) 東和町堂山・経ヶ森山の植物. 東和町教育委員会 135pp.
282. 須川直義 (1999) 北上市立博物館スミレ属植物目録. 北上市立博物館研究報告 12: 117–124.
283. 吉田稔・荒木田昭子・荒木田直也 (1996) ホザキヤドリギの果実を採食する鳥獣と種子散布. 岩手植物の会会報 33: 65–68.
284. 大森鉄雄 (1970) 岩手県に産する 2・3 の植物について. 岩手植物の会会報 7: 7–10.
285. 大森鉄雄 (1977) 奥羽山脈毒ヶ森山塊の植物 (I). 岩手植物の会会報 14: 25–30.
286. Yonezawa N. (1988) *Tripterospermum involucrile* Yonezawa (Gentianaceae), a new species from central Honshu, Japan, J. Phytogeogr. & Taxon. 36: 9–12.
287. 小水内長太郎 (1991) カワヂシャ見出経過. 岩手植物の会会報 28: 52–53.
288. 高橋大等 (2001) 岩手県におけるイヌタヌキモの分布について. 岩手植物の会会報 38: 21.
289. 吉田繁 (2000) 椿島と青松島の植生. 岩手植物の会会報 37: 16–28.
290. 高田順 (1988) 秋田県植物分類ノート 3. Gen. *Teucrium* (ニガクサ属). 東北植物研究 5: 5–11.

291. 小水内正明・千葉博 (2008) 岩手山のキタゴヨウ林. 岩手植物の会会報 45: 8–13.
292. 鈴木實 (1997) 平成8年植物駆けある記. 岩手植物の会会報 34: 38–40.
293. 高野祐晃 (1982) 岩手県に産する2・3の植物について. 岩手植物の会会報 19: 59–60.
294. Kadota Y. (2004) Taxonomic studies of *Cirsium* (Asteraceae) in Japan XII. Subsect. *Nipponensis*, subsect. nov. and a new species, *C. hachimantaiense*, belonging to the new subsection. Bull. Nat. Sci. Mus., SeriesB, Bot. 30: 117–133.
295. 國京順一 (2016) 東北のアザミとその仲間たち. 自費出版 120pp.
296. 笹村祥二 (1975) 岩手植物雑記 (4). 岩手植物の会会報 12: 11–14.
297. 菅原亀悦 (1978) 北限地帯モミ林の生態学的研究. 宮城県農業短期大学紀要 4: 3–68.
298. 高橋大等 (2009) 早池峰連峰高檜山におけるイチイ巨木群の生態—森にイチイの後継樹がみられない不思議—. 岩手植物の会会報 46: 1–6.
299. 高橋大等・中村博文 (2010) 早池峰連峰高檜山におけるアオモリトドマツ分布地内に於けるイチイ巨木群の生態—アオモリトドマツ分布最前線でのイチイ衰退の謎—. 岩手植物の会会報 47: 13–1.
300. 高橋大等・小水内正明 (2011) 安家森におけるイチイの分布と後継樹. 岩手植物の会会報 48: 31–36.
301. 林田光祐 (2004) 北限域のタブノキ林. 森林科学 41: 50–53.
302. 小守一男 (1982) 一戸町の生物 植物. 一戸町誌上巻. 一戸町誌編纂委員会 101–131.
303. 石塚和雄・斎藤員郎・佐々木豊・畠山茂雄 (1992) イヌヅナの新北限分布域. 植物研究雑誌 67: 35–43.
304. 菅原亀悦・小水内正明 (1998) 葛巻町の特記すべき植生. 葛巻町自然環境調査報告書 1–58.
305. 武田眞一 (2009) 岩手県におけるシハイスミレ *Viola violacea* Makino var. *violacea* の再確認について. 岩手植物の会会報 46: 7–10.
306. 大森鉄雄 (2017) 岩手県で新たに発見されたヤクシマスケ, ホソバアカバナ, クマツヅラ. 岩手植物の会会報 (54) : 36–39.
307. 吉田繁 (2010) マツカゼソウについて. 岩手植物の会会報 47: 29–30.
308. 大森鉄雄 (2009) 花巻市矢沢・大森山北面のミツガシワヨシ群落の保護について. 花巻市文化財調査報告書 3: 1–10.
309. 安本広静 (1965) 馬仙峠採集記. 岩手植物の会会報 2: 41.
310. Koizumi H. (1937) *Plantae noeae Nippon-boreales*, J. Plants Iwateken 2: 75–105.
311. 門田裕一 (2008) 日本のアザミ. 国立科学博物館 <https://www.kahaku.go.jp/research/db/botany/azami/index.html> (参照 2024-02-05) .
312. 鈴木實 (1979) 胆江地方の植物新知見. 岩手植物の会会報 16: 12–14.